

令和6年度 第1回学校運営協議会 会議録（要点記録）

令和6年5月24日

- 1 開催日時 令和6年5月24日（金） 午後1時50分から午後3時10分まで
- 2 開催場所 浜松市立江南中学校 会議室
- 3 出席委員 池田 澄子、鈴木 美佐男、塚越 勲、中西 正武
稲鶴 久美子、伊藤 綾、鈴木 尊子
- 4 欠席委員 井村 元子、小沢 和男
- 5 学 校 横原 昇司（校長）、小林 貴道（教頭）、小枝 善憲（教務主任）
川上 恭子（CSディレクター）
- 6 オブザーバー 吉田 久記（五島協働センター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 川上 恭子
- 9 議長の選出 池田会長が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- （1）学校運営基本方針について
- （2）いじめ防止等のための基本方針について
- （3）夢育やらまいか事業に対する意見書について
- （4）学校運営について必要な支援について

11 会議記録

司会の小林から、委員総数9人のうち7人の出席があり、会議が成立している旨の報告があった。

- （1）学校運営基本方針について

配布した学校経営書をもとに説明（校長）。

・冊子内にある「選ばれる学校」に取り組むことが大切と感じる（池田会長）。

- （2）いじめ防止等のための基本方針について

本校ではいじめアンケートの実施などを通して、万一いじめがあったとしても早くキャッチできるように努めていると説明（校長）。

・この学校のいじめ認知は0件か？もしくは何件確認したのか（鈴木美佐男委員）。

0ではない。「いじめ」の判断基準が変わってきており、生徒が嫌な思いをした場合、「いじめ」と判断することが多い。昨年度から継続中は2件で両件とも解消の方向に動いていると確認している（校長）。

・SNSを通じてのいじめは何件か？部活か？グループか？（稲鶴委員）

今のところSNSはない。生徒同士の関わり合いの中での案件である（校長）。

・どういうタイプのいじめなのか？（中西委員）

無視・仲間外れといったもの。教員が間に入っていち速く対応することが、いじめ対応には大切だと考えている（校長）。

・いじめられた生徒への対応も必要だが、社会に出てから誰も助けてくれない。いじめに負けない強い気持ちを持った子を育ててほしい（塚越委員）。

・いじめたとする生徒からもしっかり話を聞いてほしい（稲鶴委員）。

心の傷は一生続く、まずは嫌な思いをした生徒（いじめられた子）のケアをし、もちろんいじめた生徒からも話をしっかり聞いている（校長）。

・いじめを早くキャッチする、早急に双方から話を聞き、ケアをする。そして、気持ちの強い子を育てていくことを目指しましょう（池田会長）。

（３）夢育やらまいか事業に対する意見書について

資料に基づき小林教頭より説明。

・職場体験の前マナー講座とはどのような内容か（鈴木尊子委員）。

某金融機関の方をお招きし、名刺の渡し方など社会のルールを話してもらう（教頭）。

・地域の人材はどのように探しているのか（伊藤委員）。

委員のメンバーの方から今まで同様ご紹介いただきたい（教頭）。

（４）学校運営について必要な支援について

生徒減少問題について手元資料で説明（校長）。いかに特色ある学校にするか。この協議会の場でご意見・人材についてご紹介をお願いしたい（校長）。

・現在の１年生は、学区外に行ってしまった子を含めると何名だったのか。特色ある学校にしたいというご意見には賛同するが、果たしてそれだけでよいのか。でも何かしないといけないのは事実であるとする（中西委員）。

全員学区内に進学していたとしても１４０名前後（校長）。

・この地域の人口が増えれば、必然と生徒数も増えるのだろうが（鈴木美佐男委員）。

今の子供たちは、この学校にはこの部活があるからと学区外を選択している。子供たちがどんな活動をしたいのかを認識してクラブとしてやってあげてほしい（塚越委員）。

・部活動のスポーツ経験者の顧問をつけてほしい。子供たちのモチベーションが上がらない（伊藤委員）。

近々地域クラブ化になる際に、地域の方から経験者の指導者が出てきてほしい。（校長）

・地域でクラブを立ち上げ、場所の提供などでいち早く学校に求めるとよい。そのスポーツをやりたい生徒が集まってくるようになるとうい（鈴木美佐男委員）。

部活動に入らない子が増えてきている。その現状を見ると部活動で特色を出すのは難しいと考える（校長）。

・学校のそばにビーチバレーコート、アーチェリー場がある。それを生かせないか（鈴木美佐男委員）。

・ＩＴをもっと取り入れてもらえないだろうか。ノートを手書きするもよいが、もっとＩＴを使いながら学習することで、社会に出てからの実務につながると思う。それを特色の一つにしてもらえないだろうか（鈴木尊子委員）。

持続可能な対応をしていかなければならない。その中で何ができるか考えていきたい（校長）。

その他報告事項等

司会から、次回会議は、令和6年9月20（金）午後13時30分から江南中学校会議室で開催する旨の報告があった。